

第2回「関西広域防災計画策定委員会」結果概要

1 日 時 平成 23 年 7 月 26 日（火） 15:30～17:00

2 場 所 兵庫県災害対策センター 1 階 災害対策本部室

3 出席者 別紙「委員等名簿」のとおり

4 内 容

（1）あいさつ

関西広域連合 広域連合長（広域防災担当委員） 井戸敏三（兵庫県知事）

（2）主な意見

- ・ 充実・発展型のプランなので、はじめからフルセットで記載するのではなく、できることから組み立てて記載していく方がよい。
- ・ 災害の種類が網羅されているが、一番心配な東海・東南海・南海地震で将来発展形のスキームをまずつくって、それ以外の災害は起こりやすいものから順次つくっていくことにした方がわかりやすい。
- ・ 地震、津波をベースにつくり上げていき、その時に広域連合がどういう役割を果たすのかというような具体的な取組をまとめた方がわかりやすい。
- ・ 広域連合の行動指針として、メッセージが明確になるよう整理が必要である。
- ・ 広域連合が実施することによって、どのようなメリットがあるのかというイメージを前面に押し出した方がわかりやすい。
- ・ 広域連合が行う、調整すると書かれているが、それを受けて府県は何をすることが見えない。府県がすることをこのシナリオの中に埋め込めば、全体像が見えてきてわかりやすくなるのではないか。
- ・ 見識を持った専門的集団のサポートシステムを広域連合の災害対策本部に取り込んで、専門的集団からの助言を受けられる仕組みを盛り込むべきである。
- ・ 広域連合の災害対策本部も、機能別の班体制を考えるべきである。
- ・ 市民レベルで防災活動ができることをプランに入れてほしい。
- ・ 広域連合で、企業との基本的な協定案文をつくり、協定内容や協定先企業の業種・拠点範囲等に基づき、広域連合及び各府県が各々分担して、基本協定案をベースに各企業と協定を締結すればよい。

関西広域防災計画策定委員会 委員等名簿

【委員】

氏 名	所 属 ・ 職	備考
石川 永子	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター 主任研究員	欠席
梅木 直幸	日本防災士会和歌山県支部 支部長	
太田 直子	たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」 代表	欠席
河田 恵昭◎	阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター センター長	
神田 彰	公益社団法人関西経済連合会 地域連携部長	代理
岸谷 義雄	財団法人兵庫県消防協会 会長	
木村 玲欧	兵庫県立大学環境人間学部 准教授	
牧野 吉明	亀岡市篠町自主防災会 会長	
村上 仁士	徳島大学 名誉教授	
室崎 益輝○	関西学院大学総合政策学部 教授	
山下 淳	関西学院大学法学部 教授	

※敬称略、五十音順。◎印は委員長、○印は副委員長を示す。

【オブザーバー】

団 体 ・ 機 関 名	備考
陸上自衛隊中部方面総監部	
近畿管区警察局	
第五管区海上保安本部	
大阪府下消防長会	
福井県	欠席
三重県	
奈良県	
鳥取県	
京都市	
大阪市	
堺市	
神戸市	